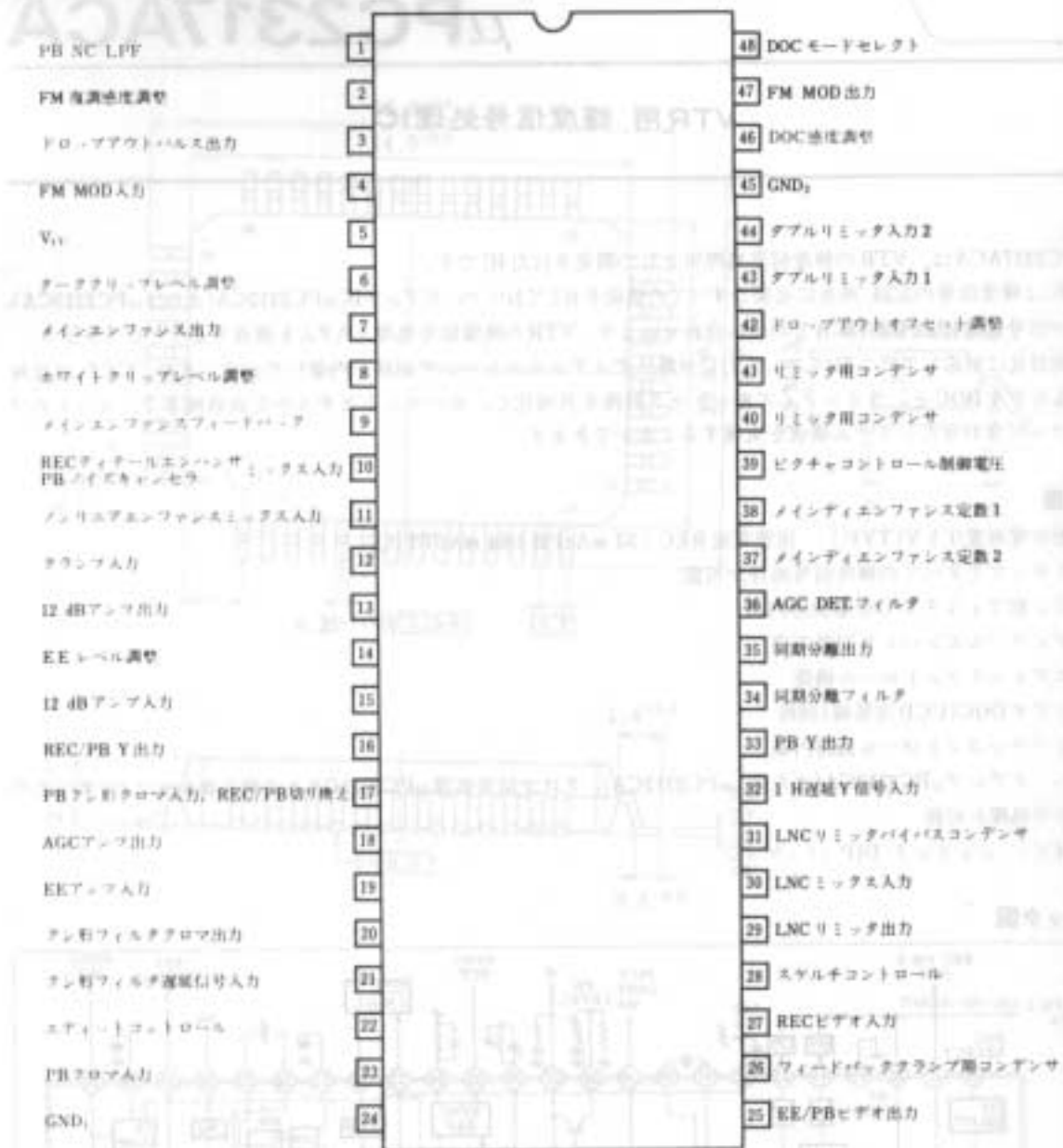


端子接続 (Top View)




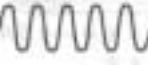


端子機能

ピン No.	機 能	標準波形	入出力形式 インピーダンス	補 足 説 明
1	PB NC LPF		2.2 kΩ	PB時ノイズキャンセラのLPFを構成します。PB時のみ働かせることによって、波形再現性を向上させます。
2	FM DEMO 感度調整	—	Tr. C-B Di	FM復調器の感度を決定するための抵抗を対 V _{CC} に接続します。

ピン No.	機 能	標準波形	入出力形式 インピーダンス	補 足 説 明
3	ドロップアウト パルス 出力		オープン コレクタ OUT	対V _{CC} に抵抗を接続することにより、ドロップアウトの発生に応じた正極性のパルスが得られます。
4	FM MOD 入 力		Tr. E	FM変調器への入力端子です。⑥ピンからの出力を入力します。対V _{CC} 、および⑤ピンとの間にVRを接続し、キャリア周波数、デビエーションの調整を行います。
5	V _{CC}	—	—	ICの電源端子です。 4.5~5.5 Vの範囲でお使いください。
6	データクリップ調整	—	Tr. B	外部にVRを設け、印加するDC電圧を変化させ、調整を行います。
7	メインエンファシス 出力		E・F	メインエンファシスを構成する増幅アンプの出力端子です。⑨ピンとの間にメインエンファシス用の時定数を接続します。
8	ホワイト クリップ 調整	—	Tr. B	外部にVRを設け、印加するDC電圧を変化させ、調整を行います。
9	メインエンファシス FB		Tr. B	メインエンファシスを構成する増幅アンプのフィードバック端子です。
10	ディテールエンハンサ PB NCミックス入力		30 kΩ	REC時のディテールエンハンサ、およびPB時のノイズキャンセラを構成するための高周波成分の入力端子です。⑬ピンの出力から外付けのHPFを通し入力します。入力された信号は内部のリミッタを介し、メイン信号と加算(減算)されます。
11	NLエンファシス ミックス 出力		30 kΩ	ノンリニアのエンファシス/ディエンファシスを構成するための高周波成分の入力端子です。⑬ピンの出力を外付けのHPFを通し入力します。入力された信号は内部のリミッタを介し、メイン信号と加算(減算)されます。
12	ク ラ ンプ 入 力		Tr. E	ノンリニアエンファシス、およびREC時のディテールエンハンサ、PB時のノイズキャンセラを構成するためのメイン信号の入力端子です。⑬ピンの出力を直接入力します。
13	12 dB アンプ 出力		E・F	12 dBアンプの出力端子です。
14	EE レベル 調整	—	Tr. B	EEレベルの調整端子です。外部にVRを設け、印加するDC電圧を変化させ調整を行います。
15	12 dB アンプ 入力		20 kΩ	12 dBアンプの入力端子です。 REC/PBとも、3 MHzのLPFからの信号を入力します。

ピン No.	機 能	標準波形	入出力形式 インピーダンス	補 足 説 明
16	REC/PB Y 出力		E・F	REC時クシ形フィルタ、PB時メインディエンファンスの出力です。 3 MHzのLPFを接続します。
17	PB クロマ 入力 REC/PB切り換え		10 kΩ IN	PB時、クロマクロストークキャンセラの再生クロマ信号の入力端子です。またREC/PB切り換えを共用しており、ダイオードを介し、3.8 V以上のDCを印加することにより、RECモードとなります。
18	A G C 出力		E・F	AGCアンプの出力端子です。PB時には、⑩ピンに入力されたクロマ信号が出力されます。 この出力を1 Hディレイラインを介し⑪ピンに入力することによって、クシ形フィルタを構成します。
19	EE アンプ 入力		10 kΩ IN	EEアンプ、およびクシ形フィルタのメイン信号ラインの入力端子です。⑩ピン出力をコンデンサを介して直接入力します。
20	ク ロ マ 出力		E・F	REC時Y/C分離、およびPB時クロマクロストークキャンセラのクロマ信号出力です。REC時エディットモード選択の場合は入力コンポジット信号が出力されます。
21	ディレイ信号入力		15 kΩ IN	REC時Y/C分離、PB時クロストークキャンセルを行うクシ形フィルタを構成するための1 H遅延信号の入力端子です。
22	エディット コントロール	—	20 kΩ IN	エディットモードの選択端子です。Hiにすることによりエディットモードとなり、REC時の色信号分離動作を停止します。
23	PB クロマ 入力		10 kΩ IN	PB Y/Cミックス回路へのクロマ信号の入力端子です。
24	ビ デ オ GND	—	—	ICのビデオ系のGND端子です。
25	ビ デ オ 出力		E・F	REC EEビデオおよび再生ビデオ信号の出力端子です。
26	FB フラック フィルタ		Tr. B.	フィードバッククランプのレベルシフト量を1 H単位でホールドするための時定数端子です。対GNDに電解コンデンサを接続します。
27	REC ビデオ 入力		30 kΩ IN	RECビデオ信号の入力端子です。
28	スケルチコントロール	—	30 kΩ	Mレベル入力によりビデオ出力端子におけるレベルが同期先端レベルに固定されます。また、Hレベルを入力するとグレイレベルに固定されます。

ピン No	標準 DC	PEC時 PB時	標準波形	入出力形式 インピーダンス	補 足 説 明
29	LNC リミッタ出力			E・F	ラインノイズキャンセラ用リミッタの出力端子です。ノイズ信号と1 H前の信号の差信号が内部のリミッタを介し、ノイズ成分として出力されます。
30	LNC ミックス入力			10 kΩ IN	ラインノイズキャンセラを構成する際のノイズ成分の入力端子です。⑨ピン出力を外部 ATT にてレベル合わせをした後入力します。
31	リミッタバイパス		—	5 kΩ	ラインノイズキャンセラ用リミッタのバイパスコンデンサを接続します。
32	ディレイ信号入力			Tr・E	ラインノイズキャンセラおよびビデオDOCを構成する際の1 H遅延Y信号の入力端子です。⑩ピン出力をCCD遅延線を経由し、レベル調整した後、入力します。
33	DOC SW ビデオ出力			E・F	ラインノイズキャンセラ、およびビデオDOCの1 H遅延信号ループを構成するためのPB Y信号の出力端子です。
34	同期分離フィルタ			Tr・B・Tr・C	同期分離回路のフィルタ端子です。対V _{CC} に抵抗、コンデンサを接続します。
35	同期分離出力			E・F	同期分離回路の出力端子です。
36	AGC Det フィルタ		—	E・F	AGC DETのフィルタ端子です。コンデンサと抵抗を対GNDに接続します。
37	メインディエンファシス 定数1			Tr・C	メインディエンファシスを構成するTrのコレクタ端子です。ディエンファシス用の時定数を接続します。
38	メインディエンファシス 定数2			E・F	メインディエンファシスを構成するTrのエミッタ端子です。抵抗および再生レベル調整用のVRを外付けします。
39	ビクニチセ コントロール		—	24.5 kΩ	再生画質調整回路のコントロール端子です。外部VRにより印加するDC電圧を変化させ、高域成分の強調、抑圧を行います。
40	リミッタ用 コンデンサ		—	Tr・E	FM復調前段リミッタのDCオフセット検取用のコンデンサを外付けします。
42	DOC オフセット調整		—	15.5 kΩ	ビデオDOCのオフセット調整端子です。外付けに抵抗とVRを接続し、外部から印加するDC電圧を変化させ調整を行います。
43	ダブルリミッタ 入力1			20 kΩ IN	ダブルリミッタのLPF側の入力端子です。再生FM信号を外付けのCR LPFを介し入力します。

ピン No.	機 能	標準波形	入出力形式 インピーダンス	補 足 説 明
44	ダブルリミッタ 入力 2		10 kΩ IN	ダブルリミッタのHPF側の入力端子です。 ④ピン出力を外付けのC、RのHPFを介し入力します。
45	RF GND	—	—	ICのRF系GND端子です。
46	DOC 感度調整		7.3 kΩ	再生FM信号の振幅により、DOC検出レベルを設定できます。設定値は、標準入力0.4 V _{rms} に対し、-18 dBとなっています。
47	FM MOD 出力		E-F	FM変調器の出力です。
48	DOC モードセレクト		15 kΩ IN	LレベルでビデオDOCモード、HレベルでDOC OFFとなり、ビデオDOCスイッチがノーマル側に固定されます。

絶対最大定格

項 目	略 号	定 格	単 位
電源電圧	V _{CC}	7	V
許容損失	P _d	580	mW
動作温度範囲	T _{op}	-10~+75	°C
保存温度範囲	T _{stg}	-40~+125	°C

推奨動作範囲

項 目	単 位	MIN.	TYP.	MAX.	単 位
電源電圧	V _{CC}	4.5	5.0	5.5	V

回路図でロケテ

48ピン・プラスチック・デュアル・インラインパッケージ (DIP) (600 mil) 外形図(単位: mm)

